

# 令和7年度第3回 各府省庁生成AIシステム定期報告概要

2026/03/10 先進的AI利活用アドバイザーボード事務局

# 各府省庁生成AIシステム定期報告概要（令和7年度第3回）

- 全府省庁において、生成AIシステムを利用開始済み（前回報告（令和7年9月末時点）から変更なし）
- 25府省庁中、18府省庁において、府省庁内全体で生成AIを利用開始済み（前回報告から1府省庁増）
- 全体傾向として、約90%が利用開始済、約95%が年度内に利用開始予定
- 令和7年12月末時点まで、リスクケースの発生事例はなし

## 調査概要

- ✓ 令和7年12月末時点での生成AIシステムの利活用状況を令和8年2月に各府省庁より報告

## 分析軸

- ✓ 利用類型
  - 汎用型1（指示文やファイルを直接入力する形でのみ生成AIを利用している）
  - 汎用型2（定型的な指示文やテンプレート、フォーマットを利用することで生成AIへの指示を行っている）
  - 特化型1（特定の業務データ等を参照させる形で、RAG等の技術を活用している）
  - 特化型2（特定の業務データ等を学習させる形で、ファインチューニングや強化学習を活用して独自モデルの開発等をしている）
- ✓ 利用開始時期（利用開始済みor令和7年中に利用開始予定or令和7年度中に利用開始予定or令和8年度以降に利用開始予定or未定）
- ✓ 利用者の範囲（単一府省庁のみor複数府省庁までor外部orその他）
- ✓ 導入段階（検証段階or常用段階）
- ✓ 取扱情報の機密性（機密性1or機密性2以上をプロンプトに入れるor機密性2以上を参照or機密性2以上を追加学習）
- ✓ 成果目標（定量成果目標ありor定性成果目標ありor成果目標なし）
- ✓ 出力データの種類（テキスト出力のみor画像・音声を含むor動画を含むorその他）
- ✓ モデル利用状況

## 利用類型・利用時期

○前回報告に引き続き、約90%が利用開始済、約95%が年度内に利用開始予定

○利用開始済の案件の1割以上が特化型

		利用類型					総計
		汎用型 1	汎用型 2	特化型 1	特化型 2	その他	
利用開始時期	1. 利用開始済み	212	30	30	2	8	282
	2. 令和7年度中に利用開始予定	4	1	11	1	1	18
	3. 令和8年度以降に利用開始予定	2	1	10		2	15
	4. 未定・その他	3	1				4
総計		221	33	51	3	11	319
前回報告件数		218	32	36	4	16	306

利用開始済の約1割を占める

※ 利用開始時期未回答が1件あり、「4. 未定・その他」として集計

# 政府職員の生成AIシステムの利用類型・利用者の範囲 (令和7年12月末時点)

○前回報告と比較して、特化型1の案件が増加

○25府省庁中、18府省庁において、府省庁内全体で生成AIを利用開始済み (前回報告から1府省庁増)

		利用類型/利用開始状況										総計	前回報告件数
		汎用型1		汎用型2		特化型1		特化型2		その他			
		開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前		
利用者の範囲	1. 単一府省庁のみ-課室単位以下	159	4	21	1	10	6	1	1	2		205	209
	2. 単一府省庁のみ-部局単位 (複数部局での利用を含む)	26	2	4	2	3	5	1				43	37
	3. 単一府省庁のみ-全体	23	1	1		6	3			3		37(18)	27(17)
	4. 複数府省庁まで (独法や地方公共団体等を含まない)			1		3	1					5	2
	5. 行政関係者まで (独法や地方公共団体等を含む)	1		2			2					5	5
	8. その他	1				5	2			2	1	11	15
総計		210	7	29	3	27	19	2	1	7	1	306	-
前回報告件数		211	4	27	4	23	9	2	2	9	4	-	295

※ 政府職員を利用者とするもののみを対象、利用開始時期の記入がない1件、利用者の範囲の記載がない2件は除いている

※ 「単一府省庁のみ-全体」に記載の「(数値)」は、重複削除した際の省庁数を示している

# 政府職員の生成AIシステムの導入段階ごとの利用類型・利用者の範囲 (令和7年12月末時点)

○引き続き、汎用型は開始済みかつ常用段階が多く、特化型は検証段階の方が多い

○政府職員が利用する特化型の生成AIは、引き続き検証段階のものが多

		利用類型・利用開始状況										総計	前報告件数	
		汎用型1		汎用型2		特化型1		特化型2		その他				
		開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前			
利用者の範囲・調達段階	1. 単一府省庁のみ-課室単位以下	常用段階	124		19	1	3				1		148	151
		検証段階	34	4	2		7	6	1	1	1		56	56
	2. 単一府省庁のみ-部局単位 (複数部局での利用を含む)	常用段階	18	1	2	1	2	1					25	19
		検証段階	8	1	2	1	1	4	1				18	18
	3. 単一府省庁のみ-全体	常用段階	19	1	1		2	2			2		27	22
		検証段階	4				4	1			1		10	5
	4. 複数府省庁まで (独法や地方公共団体等を含まない)	常用段階			1		2						3	2
		検証段階					1	1					2	0
	5. 行政関係者まで (独法や地方公共団体等を含む)	常用段階			2								2	2
		検証段階	1					2					3	3
	8. その他	常用段階					3						3	5
		検証段階	1				2	2			2		7	9
	総計		209	7	29	3	27	19	2	1	7	0	304	-
	前報告件数		210	4	27	4	23	9	2	2	8	3		292

同一カテゴリ内で常用段階・検証段階を比較し、より多くの案件数がある調達段階を色分けで示す

※ 政府職員を利用者とするもののみを対象、利用開始時期の記入がない1件、利用者の範囲の記載がない2件、導入段階の記載がない2件は除いている

# 政府職員の利用する生成AIシステムの取扱情報の機密性（令和7年12月末時点）

○機密性2 情報や個人情報を取り扱う案件が2割（58件/295件）から3割弱（81件/306件）までわずかに増加

○機密性2 情報を取り扱う案件は、プロンプト又はRAGで参照する事例が殆どであるが、追加学習に用いる事例もわずかに増加

		利用類型・利用開始状況										総計	前回報告件数
		汎用型1		汎用型2		特化型1		特化型2		その他			
		開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前		
情報の機密性	1. 機密性1 情報のみ取り扱う	179	4	23	2	6	6			4	1	225	237
	2. 機密性2 情報や個人情報を利用者が指示文に入力する	21	1	2		6	5			1		36	24
	3. 機密性2 情報や個人情報を参照して回答を生成する	9	2	4	1	15	5	1		2		39	31
	4. 機密性2 情報を生成AIの追加学習（強化学習やファインチューニング等）に用いる	1					3	1	1			6	3
総計		210	7	29	3	27	19	2	1	7	1	306	-
前回報告件数		211	4	27	4	23	9	2	2	9	4	-	295

【特化型1、機密性2 情報・個人情報を活用する生成AIの事例】

インタビューやアンケート等の調査結果のデータベース

- 目的：分析の効率化
- 概要：過去のインタビューやアンケートで得られた調査結果を、職員の分析の効率化につなげる為に生成AIを用いて調査概要カルテの作成の試行を行う。使用する情報には個人名や年齢等の機密性2に相当する情報が含まれるため、適切なセキュリティ対策を施す。出力結果は職員がその適切さを判断したうえで活用する。

※ 政府職員を利用者とするもののみを対象、利用開始時期の記入がない1件、入力・参照情報の機密性の記載がない2件は除いている

## 政府の生成AIシステムの外部向けの利用類型・導入段階（令和7年12月末時点）

○外部向けの利用類型では、特定の利用者に対する情報提供に生成AIによるRAGを活用するものが多い（前回報告から特化型1の利用開始済案件が1件増加）

利用者の範囲	導入段階	利用類型・利用開始状況										総計	前回報告 件数
		汎用型1		汎用型2		特化型1		特化型2		その他			
		開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前		
外部 (特定少数)	常用段階	1				1	1					3	3
	検証段階					1	2					3	3
外部 (不特定多数)	常用段階			1							1	2	2
	検証段階		1								1	2	2
総計		1	1	1		2	3				2	10	-
前回報告件数		1	1	1		1	3				3	-	10

※ 特定少数及び不特定多数の外部の方を利用者とするもののみを対象

## 出力データの種類

○出力データの種類が、テキスト出力のみのものは170件/319件が該当

○画像を含む出力をするユースケースは10件/319件、音声を含む出力をするユースケースは1件/319件と変わらないものの、機能上音声・画像を提供可能な生成AI利用は増加

出力データの種類	その他モダリティの利用を想定しているか	集計	前回報告件数
1. テキスト出力のみ	-	170	167
2. 用途に音声を含む	利用用途に音声を生成する旨記載あり	1	1
3. 用途に画像を含む	利用用途に画像を生成する旨記載あり	10	10
4. 機能に音声・画像を含む	機能上は提供可能（利用用途に画像・音声・動画等を生成する旨記載なし）	52	31
5. 機能に動画を含む	機能上は提供可能（利用用途に画像・音声・動画等を生成する旨記載なし）	11	12
6. その他	利用用途に画像・音声・動画等を生成する旨記載なし	7	8
7. 未記入	利用用途に画像・音声・動画等を生成する旨記載なし	68	77
総計		319	306

## 成果目標の例

○成果目標（定量・定性）を設定している案件の割合や目標記載例を紹介

### 定性成果目標の記載例

- 判例の網羅的かつ効率的な調査・研究。
- 議事録作成・共有に掛かる時間の削減。
- 必要の都度実施していた英訳・和訳業務発注の削減
- 翻訳作業の即時化
- 作業時間の削減を目的として、文章作成やレポート作成、コード生成などの単純かつ繰り返し行う作業を効率化します。これに加えて、ミスの減少や品質向上により間接コストの削減も図ります。
- 情報の収集や分析、文書等の作成等に係る効率化（作業時間の削減及び高度化）

# 高リスク案件について

非公開資料

# 利用廃止となった案件

○利用廃止となったものは、汎用型 1 の常用段階が多く、特化型1は少数

		利用類型・利用開始状況										総計		
		汎用型 1		汎用型 2		特化型 1		特化型 2		その他				
		開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前	開始済	開始前			
利用者の範囲・調達段階	1. 単一府省庁のみ-課室単位以下	常用段階	20				1				3		24	
		検証段階	12				1				1		14	
	2. 単一府省庁のみ-部局単位 (複数部局での利用を含む)	常用段階												
		検証段階	1				1						2	
	8. その他	常用段階	1										1	
		検証段階									1		1	
	総計			34				3				5		42

※ 利用者の範囲及び導入段階を選択していた案件を対象、導入段階の記載がない1件は除いている

**デジタル庁**  
**Digital Agency**